

アンケート調査について

「大学入学段階での情報リテラシ技術
習得状況に関するアンケート」

今後の「情報リテラシ演習」の内容検討のため

本年度の「情報リテラシ演習」の
全受講生対象に実施

御協力ください

「大学入学段階での情報リテラシ技術 習得状況に関するアンケート」

Loyola システムを用いて実施

Loyola にログイン → [アンケート回答]
→ 質問項目に従って入力・回答 → [送信]

実施期間中 (1/26(月) まで) は何度でも修正可

- アンケート回答・回答者が
担当教員に通知されることはない
- アンケート回答内容が
成績評価に影響することはない

今後の本授業の予定: テーマは情報の発信

- 1/15(今回・見做し月曜日):
HTML による web page 作成 (2)
- 1/19(月): プレゼンテーション大会 (1)
- 1/26(月): プレゼンテーション大会 (2)

プレゼンテーション大会

2 回に亙って**全員**に
プレゼンテーションソフトを用いた発表
をしてもらいます

- 内容: 何かを**勧める**
- 持ち時間: 1 分
- 資料枚数: 表紙 + 2~3 枚程度か
- プレゼンテーション資料の事前提出:
明日の午前中までにメール添付で提出

プレゼンテーション大会

プレゼンテーション資料の事前提出要領:

- 明日の午前中までにメール添付で提出
- スライドショー形式 (.ppsx) で提出
- 添付ファイル名は学生番号 (a0nxxyyy.ppsx)
- メール本文に学生番号・氏名・題目を記載
(1行ずつ改行して行頭から)

ID:A0nxxyyy

Name:何野某

Title:何とかのお勧め

これを怠っている者は、

この部分だけ再提出のこと

前回・今回は

ウェブサイト作成

HTML 文書を作る
(HyperText Markup Language)

実習 (前回):

本授業のウェブサイト

`http://pweb.cc.sophia.ac.jp`
`/tsunogai/kougi/08/jolite.html`

に用意したサンプル HTML ファイル

`sample.html`

をダウンロード

[右クリック] → [対象をファイルに保存]

→ 0: ドライブの授業用フォルダに保存
(ファイル名を `index.html` に変更のこと)

授業実習では、

学内のみに公開されたウェブサーバ

`lctweb.cc.sophia.ac.jp`

を使う

各人の **URL** は

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A0nxxyyy/`

以下になる

(一般に大文字小文字を区別するので注意)

学内のみに公開されたウェブサーバで 授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された (守られた) 環境で
技術・マナー・倫理を身に着ける
 - ★ うかつに個人情報に記載しない
 - ★ 不確実な情報を記載しない
 - ★ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
 - ★ インターネットは巨大なデータベース
 - ★ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

学内のみに公開されたウェブサーバで 授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された (守られた) 環境で
技術・マナー・倫理を身に着ける
 - ★ うかつに個人情報に記載しない
 - ★ 不確実な情報を記載しない
 - ★ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
 - ★ インターネットは巨大なデータベース
 - ★ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

学内のみに公開されたウェブサーバで 授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された (守られた) 環境で
技術・マナー・倫理を身に着ける
 - ★ うかつに個人情報に記載しない
 - ★ 不確実な情報を記載しない
 - ★ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
 - ★ インターネットは巨大なデータベース
 - ★ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

学内のみに公開されたウェブサーバで 授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された(守られた)環境で
技術・マナー・倫理を身に着ける
 - ★ うかつに個人情報に記載しない
 - ★ 不確実な情報を記載しない
 - ★ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
 - ★ インターネットは巨大なデータベース
 - ★ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

実習 1(前回):

以下の 2 箇所を自分の ID・名前に直してから、
ウェブブラウザで表示を確認してみよう

```
<base href=" ~ /~A0nxxyyy/index.html">
```

```
<h1>何野某の授業実習用ウェブページ</h1>
```

→ ファイルアイコンをクリック
(拡張子による関連付けにより
ウェブブラウザが起動)

実習 1(前回): 授業実習用ウェブサーバに ファイルをアップロード

とりあえず授業実習用サーバに
掲載 (アップロード) してみよう

授業実習用ホームページ (lctweb) サービス

学内のサーバに接続・ファイル転送

→ **FFFTP** を用いる

(FTP = File Transfer Protocol)

今掲載した index.html では、
文字の大きさなどは特に指定していないが、
見出しの文字は大きめに表示されている。

- 元々のテキストデータが**内容**としてある
- HTML では専ら**論理指定**を行なう
- ブラウザが解釈して適切に**表示**する

ブラウザが解釈して適切に表示する
ということはどういうことか

使っているウェブブラウザや環境によって
見え方が異なる

→ 過度に見た目に拘らないこと

参考: テキストベースブラウザ (w3m など)

HTML 文法の基礎の基礎

- テキストを **mark up** して論理指定する
→ 内容と論理指定とが共に
 プレーンテキストで交ぜ書きされる
- **mark up** は HTML の **タグ** によって行なう
 - ★ タグは **< >** で囲まれる
 - ★ **<xxx>** から **</xxx>** までが指定 xxx の範囲
(対応する **</xxx>** が無いものもある)
 - ★ 様々な属性を持つタグがある
(**<xxx yyy="zzz">** の形で指定)

HTML 文法の基礎: 構成

- `<html>` ~ `</html>`:
この間が **HTML** で書かれていることを示す
- `<head>` ~ `</head>`: ヘッダ部分
文書に関する情報を記述する
- `<body>` ~ `</body>`: 本体部分
文書の内容を記述する

HTML 文法の基礎: 段落・見出し

- `<h > ~ </h >`: 見出し (headings)
 - ★ レベル = 1 ~ 6 まで
 - ★ 上のレベルから順に用いるのが原則
 - ★ 通常、然るべき大きさ・配置で表示

- `<p> ~ </p>`: 段落 (paragraph)
 - ★ 地の文は普通この中に書くことになる
 - ★ 通常、段落内は画面端で折返し表示
 - ★ 通常、段落毎に改行、少々空けて表示

HTML 文法の基礎: 箇条書

- `` ~ ``
: 番号付き箇条書 (ordered list)
 - `` ~ ``
: 番号なし箇条書 (unordered list)
- ★ 各項目は `` ~ `` で囲む
- ★ 入れ子にも出来る
(項目内に更に
`` ~ ``・`` ~ ``
が書ける)

HTML 文法の基礎: ハイパーリンク

- `<a>` ~ ``: アンカ (anchor・碇)
 - ★ リンク先は `href` 属性で指定
(Hypertext REFerence)
従って次の形になる
`リンク`
 - ★ **URL** の指定には絶対指定・相対指定がある
 - * 絶対指定: ここと無関係に指定
`http://` などから始まる
 - * 相対指定: ここからの位置関係で指定
`./` や `../` などから始まる

実習 2:

ハイパーリンクの並んでいる段落を

箇条書に変えて、

各リンクをそれぞれ一つの項目としよう。

また、各リンクの飛び先が正しいか確かめよう。

(まだサーバへはアップロードしない)

実習 2:

「このページ」へのリンクは
前回掲載したページになっている筈だが …

特に、「このページ」へのリンクが
辿れない場合の考えられる理由

- `<base href=" ~ /~A0nxxyyy/index.html">`
を正しく直していない
(base タグは相対 URL 指定の基準の指定)
- ファイル名が `index.htm` などになっている
(拡張子が 3 文字までしか使えないシステム
が主流だったころの名残り)

実習 2:

「このページ」へのリンクは
前回掲載したページになっている筈だが …

特に、「このページ」へのリンクが
辿れない場合の考えられる理由

- `<base href=" ~ /~A0nxxyyy/index.html">`
を正しく直していない
(base タグは相対 URL 指定の基準の指定)
- ファイル名が `index.htm` などになっている
(拡張子が 3 文字までしか使えないシステム
が主流だったころの名残り)

文字コードの話

```
<meta http-equiv="Content-Type"  
content="text/html; charset=Shift_JIS">
```

では本文書の文字コードを示している

計算機内部・相互の処理・通信・記録では、
文字は文字番号 (文字コード) で扱っている

文字コード表 = 番号と文字との対応表

文字コードの話

アルファベット・数字などの標準的文字コード
… **ASCII** コード

(**American Standard Code
for Information Interchange**)

| 文字 | コード | 二進表現 |
|-----|-----|----------|
| '0' | 48 | 00110000 |
| 'A' | 65 | 01000001 |
| 'B' | 66 | 01000010 |
| 'a' | 97 | 01100001 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ |

1 文字を 8 bit (1 byte) で表す

文字コードの話

8 bit (1 byte) で表せるのは $2^8 = 256$ 文字まで

→ 日本語 (漢字) などでは足りなさ過ぎる

通常 1 文字を 2 byte (以上) で表す
(多バイト文字)

2 byte (16 bit) あれば
 $2^{16} = 65536$ 文字まで表せる

文字コードの話

歴史的事情により、
日本語文字を扱うための文字コードは
複数併存している
(JIS・ShiftJIS・EUC・Unicode など)

文字コード表 = 番号と文字との対応表

書いた時と異なる文字コードで読むと
正しく読めない
いわゆる“文字化け”

文字コードの話

- いわゆる “半角カタカナ”

歴史的に或る程度用いられているが、
標準とされていない
(使わないとされている番号を使っている)
→ 相互に了解がなければ使ってはいけない

- いわゆる “独自定義文字・機種依存文字”

既存 (標準) の文字コード表の “空き” を
メーカーが独自に (勝手に) 使っている
(丸数字・(株)・kg・ト など)
→ 一般の他機種では読めない可能性あり

実習 3:

ウェブページ (HTML 文書) をもう一つ
適当な名前で作って、
(コピーして修正すれば良い)

index.html からそのページに向けた
リンクを張ろう (相対指定が適当)。

また、そのページには、
index.html に戻ってくるための
リンクを作ろう。

出来たらサーバにアップロードして
リンクが辿れるか確認しよう。

FFFTP の使い方

- **起動:** [スタート] → [プログラム]
→ [Tools] → [ファイル転送]

- **終了:** [接続 (F)] → [終了 (X)]
([Alt + f] → [Alt+x])
または [ウィンドウ右上の×]

FFFTP の使い方

- **接続:** [接続 (F)] → [接続 (C)]
→ [ホスト一覧] でどれかを選ぶ
→ [接続 (S)]
→ ユーザ名 (学生番号) を入力 → [OK]
→ パスワードを入力 → [OK]
→ 接続完了
 - ★ 左側: ローカル (こっち側)
 - ★ 右側: リモート (向こう側)
- **切断:** [接続 (F)] → [切断 (R)]

接続を切断してから終了すること

(学内) 公開用ディレクトリの作成

(ディレクトリ: フォルダに相当)

準備として最初の1回だけ

- [コマンド (C)] → [フォルダ作成 (K)] → [フォルダ作成 (ホスト)] でフォルダ名入力 `public_html` (半角英小文字 + 記号)
(大文字小文字は区別される)
- 属性確認 (変更)
今作った `public_html` をクリックで選択
→ [コマンド (C)] → [属性変更 (A)]
[現在の属性] が **755** なら **OK**

ファイルのアップロード

ローカル (こっち側) → リモート (向こう側)

- リモート側 (右側) のディレクトリ指定:
public_html に ([ダブルクリック] で移動)
- ローカル側 (左側) のフォルダ指定:
0:¥ → 授業用フォルダ
- ローカル側 (左側) の index.html を選択
→ [アップロード] (上向き青矢印)
または マウスでドラッグ

アップロードしたファイルを試してみる

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A0nxxyyy/`

ファイル名を指定しないと `index.html` と仮定
(ウェブサーバの設定)

ソースを確認してみよう

- **IE:** [右クリック] → [ソースの表示]
- **Firefox:**
[右クリック] → [**View Page Source**]
(または [**Ctrl+u**])

HTML 文法の基礎: 表組み

- `<table>` ~ `</table>` : 表組み

罫線が必要なときは

`<table border="1">` ~ `</table>`

等とする ("1"は罫線の太さの指定)

この中に

- * `<tr>` ~ `</tr>`: 表の1行

この中に

- * `<td>` ~ `</td>`: 表の1項目

- `<caption>` ~ `</caption>` : 表の標題

HTML 文法の基礎: 表組み

本授業のウェブサイト

`http://pweb.cc.sophia.ac.jp`
`/tsunogai/kougi/08/jolite.html`

に用意した HTML ファイル

`kencho.html`

に表組みのサンプルあり

→ ソースを見てみよう

実習 4:

以前 Excel で作った九九の表を

HTML の表にしてみよう

- 九九の表を Excel で開く → [Office ボタン]
→ [名前を付けて保存] → [CSV 形式]
→ ファイル名 kuku.csv
- kuku.csv をエディタで開く
→ HTML の表組みのタグを付ける
(検索置換を駆使して効率的に!!)
- さっき作ったリンク先の HTML ファイルに
コピー&ペースト
- 表示が確認できたらアップロード

本日の実習課題の確認は、

みなさんの URL

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A0nxxyyy/`

でのアクセスを確認することで行なうので、

メール等で提出する必要は**ない**

情報発信:

プレゼンテーション資料作成
“MS-PowerPoint” を使う

ウェブサイト作成
HTML 文書を作る

共通の補足

情報発信に於いては、

相手に伝わること

が (当たり前だが) 大切

どんな人にもきちんと伝わるようにすること

ユニバーサルデザイン (Universal Design)

情報発信に於いては、

相手に伝わること

が (当たり前だが) 大切

どんな人にもきちんと伝わるようにすること

ユニバーサルデザイン (Universal Design)

ユニバーサルデザイン (Universal Design)

“バリアフリー” の考え方から発展

どんな人にもきちんと伝わるようにすること

文字情報・視覚情報の発信に於いて、
特に留意すべきことは？

ユニバーサルデザイン (Universal Design)

“バリアフリー” の考え方から発展

どんな人にもきちんと伝わるようにすること

文字情報・視覚情報の発信に於いて、
特に留意すべきことは？

参考: 色のユニバーサルデザイン

**NPO 法人 カラーユニバーサルデザイン機構
(Color Universal Design Organization)**

<http://www.cudo.jp>

どんな人にもきちんと伝わるようにすることが、

結局はどんな人にも判り易い表現に繋がる

参考: 色のユニバーサルデザイン

**NPO 法人 カラーユニバーサルデザイン機構
(Color Universal Design Organization)**

<http://www.cudo.jp>

どんな人にもきちんと伝わるようにすることが、

結局はどんな人にも判り易い表現に繋がる

本授業も

こちらから講義する内容はほぼ終了しました

- 1/19(月): プレゼンテーション大会 (1)
(1年生以外・ドイツ文学科生)
- 1/26(月): プレゼンテーション大会 (2)
(1回目の残り・イスパニア語学科生)

プレゼンテーション大会

2 回に亙って**全員**に
プレゼンテーションソフトを用いた発表
をしてもらいます

- 内容: 何かを**勧める**
- 持ち時間: 1 分
- 資料枚数: 表紙 + 2~3 枚程度か
- プレゼンテーション資料の事前提出:
明日の午前中までにメール添付で提出

プレゼンテーション大会

プレゼンテーション資料の事前提出要領:

- 明日の午前中までにメール添付で提出
- スライドショー形式 (.ppsx) で提出
- 添付ファイル名は学生番号 (a0nxxyyy.ppsx)
- メール本文に学生番号・氏名・題目を記載
(1行ずつ改行して行頭から)

ID:A0nxxyyy

Name:何野某

Title:何とかのお勧め

これを怠っている者は、

この部分だけ再提出のこと

プレゼンテーション大会

評価対象は発表全体 (資料 + 口演)

- 資料は見易く判り易いか
- 口演は聴き易く判り易いか
- 資料で表示するものと口頭で述べることの
切り分けは適切か
- 「勧める」という目的を達しているか

楽しみにしています

プレゼンテーション大会

評価対象は発表全体 (資料 + 口演)

- 資料は見易く判り易いか
- 口演は聴き易く判り易いか
- 資料で表示するものと口頭で述べることの
切り分けは適切か
- 「勧める」という目的を達しているか

楽しみにしています